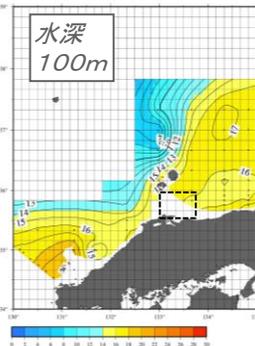
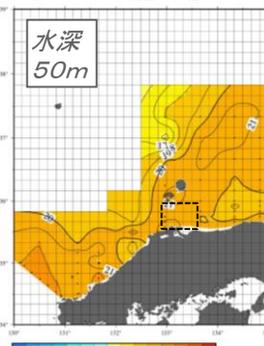


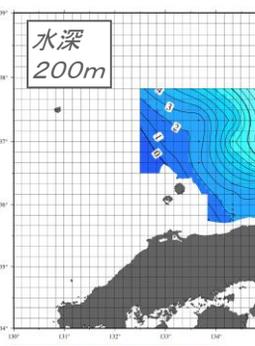
隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は21.7℃を示しています。
【前年差:-0.78℃、平年(直近30年)差:+0.80℃】



平均水温は18.0℃を示しています。
【前年差:0.33℃、平年(直近30年)差:-1.16℃】



平均水温は20.7℃を示しています。
【前年差:-1.83℃、平年(直近30年)差:-0.11℃】



水深200mの水温は平年並でした。

水産試験場

令和6年度第1回境港地区漁海況連絡会議において
サワラの特別講演があります

水産試験場が主催する境港地区漁海況連絡会議において、
今年は「サワラ」の特別講演があります。

事前申込不要ですので興味のある方は、是非ご参加ください。

開催日時:12月12日(木)午後1時半～

開催場所:県営境港水産物地方卸売市場2号上屋
2階大研修室

議題

(1)海洋環境の見通しについて・・・水産試験場 足立研究員
海洋環境、スルメイカについて

(2)浮魚類の見通しについて・・・水産試験場 野澤研究員
マアジ、マサバ、マイワシについて

(3)底魚類の見通しについて・・・水産試験場 藤原主任研究員
スワイガニ、沖合底引きその他主要魚種について

(4)特別講演

「日本海および東シナ海で漁獲されるサワラ資源について」
(国研)水産・研究教育機構 水産資源研究所
浮魚資源部 浮魚第4グループ 主任研究員 平岡優子

令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小島2丁目3-17 〒750-1136

電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424

境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530

11月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水域 隠岐諸島北方の冷水域	鳥根県沖N35°40'以北に冷水域が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取沖N38°以北に冷水域が認められました。
その他(暖水域)	隠岐諸島北東のN36°50'以北と鳥根県沿岸のN35°20'以南に17℃前後の暖水域の形成が認められました。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れ、主流の一部は鳥根沖冷水域及び隠岐諸島北方冷水域に沿って流れると考えられます。また、隠岐諸島北東のN36°50'付近では17℃前後の暖水域周辺に時計回りの流れが生じると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

資源管理計画は「資源管理協定」に移行されました

漁業者の皆さんが各地区(漁協)毎で定めていた資源管理計画は、漁業法の改正に伴い令和6年1月に資源管理協定(以下、本協定)へ移行されました。本協定はこれまでの地区毎から漁業種類毎に整理されました(79計画→14協定)。本協定での漁業者の皆さんの自主的な資源管理の取り組みは、休漁日等これまでの資源管理計画を踏襲しています。

また、漁業収入安定対策「積み立てふらす」の加入要件は、本協定の参加が必要となります。現在、該当する漁業を行って未参加のかたや、今後、当該漁業を始められるかたは、参加をお願いします。

本協定の内容は、以下をご覧ください。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/3054359.htm> (漁業調整課資源管理担当)

漁業種類	資源管理対象種
①一本釣り、曳網釣り	まあじ、ぶり、まだい、ひらめ、さわら、さじはた
②こういかご網	こういか
③かわはぎ類かご網	かわはぎ類(かわはぎ、うまづらはぎ)
④小型機船底びき網(えびけた網)	はい、まだい、ひらめ、むしがれい、きだい、ちだい、めいたがれい類(めいたがれい、ながれめいたがれい)、かわはぎ類(かわはぎ、うまづらはぎ)
⑤定置網	まあじ、まさば、ごまさば、ぶり、まだい、ひらめ、さわら
⑥刺網	まあじ、さざえ、ぶり、まだい、ひらめ、さわら、ちだい
⑦採貝・採藻	あわび類(くろあわび、めがけあわび)、さざえ、いわがき、なまこ類(まなまこ、あかなまこ)
⑧しいら漬け	しいら
⑨いわし船曳網	かたくちいわし、しらす
⑩小型いか釣り	するめいか、けんさきいか
⑪たこつば	たこ類
⑫とびうおまき網	とびうお類(ほそとびうお、つくしとびうお)
⑬はいかご網	はい
⑭あかいか機流し	そでいか(あかいか)

栽培漁業センター

秋の漁港内ウニ蓄養が終盤を迎えています！

9月号で紹介した県漁協青谷・泊支所での秋期のウニ蓄養も終盤を迎えています。今回は春と同様に配合飼料を給餌していますが、11月半ばの測定ではキャベツを給餌した前年同期よりも身入りが向上しました。栽培漁業センターで飼育しているウニの身入りも、3ヶ月間の配合飼料の給餌でGSI:7.4まで上昇しました(目標8.0)。今回の試験で、産卵期が終了した後に配合飼料を給餌すると身入りが回復することがわかりました。これらの結果については蓄養マニュアルと今後まてしていきます。